

ふくだいプレス



東日本大震災
復興に向けて
わたしたちができること

特集 学生×教職員

私の一冊

がんばれ、就活！
大学生の君たちに
今、伝えたいメッセージ

学生広報スタッフ企画 We♥福大
夏休み何する？

VOL.6
2011
JULY

保健管理センターから

保健管理センター 利用のススメ

熱中症を意識しましょう

暑い日が続く、連日熱中症のニュースが取り上げられています。熱中症とは、高温多湿環境下で、過剰の熱産生と熱放散障害が起ることに伴い、身体に様々な不調がもたらされている状態のことです。症状としては頭痛、めまい、吐き気、意識を失う等、最悪の場合は死に至ることもあります。熱中症を予防する身近な方法はこまめな水分補給が有効とされています。運動等の時は、スポーツドリンクや水分+塩分補給。いつでも水分補給できる環境を整え、からだの渇きを感じていることを意識して、熱中症を予防しましょう。

(保健管理センター 李 鍾大)

利用時間について

文京キャンパス 相談の予約は、事務室へお願いします。TEL.0776-27-8513

相談内容	相談日	受付時間
健康相談(内科医師)	月曜日～金曜日	8:30～17:00(予約制)
健康相談(精神科医師)	第1・3火曜日	10:00～12:00(予約制)
健康相談(婦人科医師)	第4木曜日	15:00～17:00(予約制)
カウンセリング(臨床心理士)	月曜日～金曜日	8:30～17:00(予約制)
一般相談(看護師・保健師)	月曜日～金曜日	8:30～17:00

松岡キャンパス 相談の予約は、事務室へお願いします。TEL.0776-61-8575

相談内容	相談日	受付時間
健康相談(内科医師)	第1・2・3金曜日	15:00～17:00(予約制)
健康相談(整形外科医師)	第2・4火曜日	16:00～17:00(予約制)
健康相談(産婦人科医師)	第1・3水曜日	16:00～17:00(予約制)
健康相談(精神科医師)	第1・3水曜日	17:00～18:00(予約制)
カウンセリング(臨床心理士)	月曜日～金曜日	9:30～17:00(予約制)
一般相談(看護師・保健師)	月曜日～金曜日	9:00～17:00

編集後記

東日本大震災から4ヶ月が経ちました。復興に向けて、今後も被災地へのさらなる支援が必要です。第6号では、福井大学が取り組む復興支援について取り上げました。学生みなさんに広く知っていただき、ひとりひとりができることを考えてもらえればと思います。

さて、この夏休み、あなたはどの過ごし方ですか？学生時代の長～い夏休み、有効利用したいですね。特集「私の一冊」で紹介された本を読んでみたり、「We love 福大」で語られる学生さんの予定を参考にしたりして、あなたの夏をアツク生きて、秋につなげていきましょう。

Editor's note

●表紙について (撮影：医学図書館)

左から 医学部医学科4年 金井貴弘さん
医学部看護学科2年 広瀬千夏さん
医学部看護学科2年 三村知愛さん
医学部医学科3年 青木昂平さん
医学部医学科2年 前田健一郎さん

表紙にご登場いただいたのは、医学図書館の学生図書委員のみなさんです。年に数回、新書購入のためのブックハンティングや、図書館からのお知らせを学生に伝えたり、逆に学生の意見、要望を図書館に伝えるなど、協働作業を行っています。

ふくだいプレス 第6号

発行日/平成23年7月 発行者/福井大学広報センター広報誌編集専門部会



「オフィスアワー」

オフィスアワーとは、学生のみならずが学業や学生生活について教員に気軽に相談できるように設定された時間です。福井大学でもオフィスアワーを設けています。この時間帯には教員が研究室に在室していますので、希望する教員の研究室を訪ねることが出来ます。出張、会議等で不在の場合もあります。

講義受講の有無、学部、講座、学科等に関係なく相談できます。相談内容によっては、専門の先生を紹介させていただきます。各教員のオフィスアワーは、文京キャンパスでは教務課で配付している資料で、松岡キャンパスについてはシラバスで確認できます。

Office Hour

あなたの一冊 教えてください

あなたの一冊は何ですか？「心に残った」「影響を受けた」「お気に入りの」あなたの一冊を教えてください。

応募方法

QRコードからご応募ください。締切は9/16です。ご応募くださった方の中から抽選で5名様に、**ドーナツ型テーブディスベンサー**をプレゼント！



プレゼント

(実物とは異なる場合があります)

みなさまからのご応募、お待ちしております！

ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの送付及びお問い合わせ・ご意見をいただいた際のご連絡に使用させていただきます。

東日本大震災

復興に向けて わたしたちが できること

このたびの東日本大震災により、亡くなられた皆さまのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまには心よりお見舞い申しあげます。



福井大学では、被災地復興支援や募金活動に取り組んでいます。詳しくは、福井大学ホームページ (<http://www.u-fukui.ac.jp/>) から東日本大震災の対応ページ (<http://www.u-fukui.ac.jp/touhoku/>) をご覧ください。

福井県へ調査団を派遣

5月24日～26日に、福井大学は学長をはじめとする調査団を福井、岩手、宮城県へ派遣しました。調査団は、役員、附属国際原子力工学研究所、工学部、医学部、医学部、附属病院、事務局の教職員計14名。一行は地震津波被害および原子力災害に見舞われた相双地方を視察後、福島県知事と面談。その後専門分野に分かれ、福島県や宮城、岩手県内において調査を行うとともに支援活動にも従事しました。



福井大学学生、教職員の災害復興支援活動について (平成23年7月1日現在)

●学生の活動

- 岩手県陸前高田市、宮城県石巻市及び東松島市において、延べ40名の学生がボランティア活動に参加
- 教職員の活動
- DMAT(医師等5名) を宮城県へ派遣
- 被曝医療の専門家(医師延べ9名) を福島県へ派遣
- 救護班(医師等延べ36名) を宮城県へ派遣
- 放射線測定チーム(医師等3名) を福島県へ派遣
- 心のケアチーム(医師等延べ13名) を宮城県及び福島県へ派遣

●その他の活動

- 附属病院近畿ブロック医療支援チーム(医師等延べ10名) を宮城県へ派遣
- 検案医師1名を宮城県へ派遣
- 循環器、呼吸器検診等の医師1名を宮城県へ派遣
- 岩手医科大学附属病院災害対策本部合同巡回チームへ医師1名を派遣
- 医学部看護学科教員延べ19名が岩手県、宮城県、福島県等で救護活動等に従事
- スクリーニングのため附属国際原子力工学研究所教員等延べ12名を福島県へ派遣
- 福島県調査団(学長等13名) を福島県へ派遣
- チャリティーコンサートを開催
- 教職員・学生からの義援金、チャリティーコンサート入場料等を、日本赤十字社福井県支部に28万3千6百87円、福島県に400万円寄付
- 医薬品、医療材料、救援物資、ICT機器等を東北大学、新潟大学、福島大学、岩手大学等に提供
- 被災した学生に対し入学料・授業料免除、アパート無償提供、教科書を無償提供
- 被災地域の大学の学生・教職員に対し本学の図書館、情報システムを利用可能とする等の学習支援を実施

学生のボランティア そして大学教育

理事(教育学生担当) 寺岡英男

ボランティアでいつも思い出すのは、阪神・淡路大震災のとき、高2で北区の仮設住宅に3週間入り込んだ学生のボランティア活動の手記。その学生は、高校時代、愛知県で高校を超え学校改革や高校生同士のなかまとしてのつながりをめざして活動する愛知県高校生フェスティバルの実行委員をしていました。学生はこう書いています。「神戸に行き、ボランティア活動を行ってきた。その中で体験が、今、『高齢社会論』の講義と重なり、なるほどと思うことが多い。今振り返ると、『ボランティア』という言葉を使っている人々と関わり、いろいろな社会の状態、社会現象を見てきたが、大学生になり、その体験が講義によって体系づけられていく。そして、自分は活動の中から知らず知らずのうちに勉強していたということを実感した。自分の世界も広がった。だから『ボランティア』という言葉を使うのはふさわしくないと考えた。と。ボランティアでは、ふつう自発性や無償性が言われます。無償どころか、逆にいっぱい学んだ、だからふさわしくない、という言葉。すごい意味を持って伝わります。1100年前の貞観の大津波、そうした大津波の確率、それらを『想定外』に作られた原発。体験と、科学的裏付けと、想像力が私たちには求められるのだと思います。そうした意味で自らの目や体を使った体験は、貴重になるはず。しかしそのついでに、大学教育にもはね返ってきます。体験を意味づけ、体系づける教育を、今の事態の中でどう提供できるか。体験を貴重にさせることのできるものをどうつくれるのか。学生の皆さんも教職員の皆さんも、ともに考えていければと思います。



震災・津波後の心のケア

保健管理センター 細田憲一

6月4日～6日に、福島県相馬市で心のケアにあたった保健管理センター細田先生からのメッセージです。

6月上旬、私は福島県相馬市の心のケア・チームに加わりました。目の前で津波に飲まれていった家族や知人の顔が浮かんで眠れない人、「助けて」という声に心えられなかった自分を責め続ける人、自分だけが生き残って申し訳ないという罪障感で悶々とする人、市内にはまだ670名余りの避難者がいました。しかし、避難所を巡回して気になったのは、被災者の世話をする市役所職員のことでした。自身も被災しながら、休みも取れず避難所で世話をし、横になって眠ることも躊躇していました。これはまずい、支援者の支援をしなければ、と考えました。

実際、災害時は支援者を後方支援するという発想は



見落とされがちです。平成16年の福井県雨災害では、支援仲間をフォローできなかつた苦い経験がありました。惨状を目にした支援者が、被災者の恐怖や不安を聞き取る活動は大変な疲労を伴います。恐怖や不安は人間が共有する根源的不安なので、支援者でも根底を揺さぶられる可能性があります。そこを見落としていました。それ以来、私は援助者自身も心に傷を受ける可能性があると考えようになりました。

帰途、見渡す限りの「津波荒野」に、消防車と思われる赤い残骸がボツンと見えました。救援の最前線、仲間を失い自身も命を賭けて走り回った消防士の姿が目に見え、涙が溢れました。相馬市では、6月に入り消防士へのケアも始まりました。私も7月には本格的な支援に入ります。福井大学の学生諸君には、夏休みに東北に行ってください。そして梓付きの映像からは感じ取れない被災地の惨状を是非、目に焼き付けてほしいと思います。

災害ボランティア活動に参加した学生より

●教育地域科学部2年男子学生

6月5日～9日にかけて、岩手県で活動しました。一般ボランティアは、被災した家屋や沿岸部に流されたがれきの撤去が主な業務でした。現場はがれき以外何もない状況で、日除けがなく、鉄板や木材が刺さったりするので装備が重要でした。また、アルバムや写真など被災者の思い出の品に出会うことも多く、心が痛みました。がれきの撤去はまだ4分の1程度しか終わっていません。今後も活動に参加したいと思っています。

●医学科1年男子学生(2名)、医学科1年女子学生

5月2日～6日に、岩手県でボランティアに参加しました。1日目は、避難所で開催されたイベントを手伝いました。被災地の子どもたちは元気に過ごしながらも、時折、周囲への気遣いを見せることもあり。2日目は、がれきを撤去したり、被災者宅を訪問しました。訪問先ではマッサージしながら被災者と話すことが一つのボランティアになっていることに気づきました。3日目は、ナン農家の方の畑の片づけを手伝いました。今後もさまざまな面で人手が必要になります。自分なりにできる活動をすすめていきたいと考えています。



夏季休業期間中における 東日本大震災の災害ボランティア活動に参加するには

○参加を認めるボランティア活動

- 1 福井県災害ボランティアセンター連絡会が災害ボランティア事前登録者の中から参加者を募って行うボランティア活動
 - 2 本学教員が帯同するボランティア活動
 - 3 「学生同士」や「個人」で、被災地の災害ボランティアセンターに登録を行って参加するボランティア活動(下記の【相談等窓口】へ要相談)
- ※ただし、試験、教育実習、臨床実習、インターンシップの期間は参加を認めません。

○現地の情報・災害ボランティアの心得等の確認

- 事前に次のサイトで必ず確認!
- ・内閣府: <http://www.bousai.go.jp/>
 - ・全国社会福祉協議会: <http://www.shakyo.or.jp/saigai/touhokuzisin.html>
 - ・文部科学省こどもの学び支援ポータルサイト: <http://manabishien.mext.go.jp/>
 - ・ふくい県民活動センター: <http://info.pref.fukui.jp/danken/npo/>

- ◆事前に必ず保険に加入してください。(下記の【相談等窓口】へ要相談)
- ◆事前に「届出書」、活動を終えた後は「報告書」を必ず下記の【相談等窓口】へ提出してください。(「届出書」「報告書」は大学HPからダウンロードできます。)
- ※ ボランティア活動を終えた学生による被災地の状況や活動内容に関する報告会を開催予定

- 【相談等窓口】
- 学生サービス課学生企画係(文京キャンパス) 0776-27-8403
 - 松岡キャンパス学務室学生係(松岡キャンパス) 0776-61-8266
 - 災害ボランティア活動支援センター(総務課社会連携係) 0776-27-8060



『自由訳 老子』
新井満(朝日新聞社)
荒井宏典さん
工)材料開発工学科4年
気持ちが良い一冊。特に「上善若水」が好きです。

主人公に
惚れます。



『年下の男の子』
五十嵐貴久(実業之日本社)
下家朝美さん
医)看護学科1年
年齢や仕事と葛藤しながら
キャリアウーマンが年下男性と
結ばれるまでを描く恋愛小説。

『青空のむこう』
アレックス・シアラー(著)
金原瑞人(訳)(求龍堂)
藤森莉絵さん
医)医学科1年
生と死を考えさせられるお
話。非現実ですが、とて
も読みやすく感動します。



野球好きに
オススメ!



『わたしを離さないで』
カズオ・イングロ(著)
土屋政雄(訳)(早川書房)
八田聡美さん
医)医学科1年
クローン人間の主人公が自分の
存在意義を探して冒険する姿に
考えさせられます。



『バッテリー』
あさのあつこ(角川文庫)
深川真有さん
工)生物応用化学科3年
思春期の友人関係や心の
変化がリアルに描かれ、世界
に引き込まれます!



『フォレスト・ガンブ』
ウィンストン・グルーム(著)
小川敏子(訳)(講談社文庫)
樋谷春菜さん
教)学校教育課程3年
「奇跡は毎日起きる」心に余裕
を持ち、自分を広い目で見ら
れるようになりました。

『オレンジデイズ』
北川悦史子(角川書店)
牧田宗大さん
教)学校教育課程3年
主人公と同じ歳の自分を重
ね合わせながら、青春やド
キドキ感を味わえます。



『寺山修司詩集』
寺山修司(ハルキ文庫)
岩上諒磨さん
教)学校教育課程1年
青年の心がうまく書き表さ
れていて、読むほどに深み
を感じます。



おきらめない
精神に共感!



『旅をする木』
星野道夫(文春文庫)
田中麻結さん
教)地域科学課程2年
著者の人柄が作品に
表れ、物ごとを心の奥
底から見つめている
感じが好きです。



『日本男児』
長友佑都(ポプラ社)
戸松信輝さん
工)電気・電子工学科2年
“自分”を理解した上で努力
し成長していく著者の
姿にスゴさを感じます。



『The Rough Guide to Ethical Living』
Duncan Clark(Rough Guides)
チェン ワイ タットさん
工)電気電子工学科4年
地球を守るの自分たち次第
だと教えてくれた一冊。生活の
ヒントが学べます。



『江戸川乱歩』
江戸川乱歩(筑摩書房)
長谷川実香さん
教)地域科学課程4年
現代作家ではあまり見られ
ないような「人間の怖さ」
が描かれています。



『マンガで学ぶ感染症』
岩田健太郎(中外医学社)
伊藤太郎さん
医)医学科4年
薬剤耐性菌を生まないための抗生物
質の処方について学べる一冊です。



『DUST』
山田悠介(文芸社)
橋本美郷さん
医)看護学科1年
現代社会を風刺すると同時
に人間の心理がうまく表現さ
れていて感情移入できます。

特集 学生 X 教職員 私 の 一冊

学生、教職員のみさんから
「私の一冊」を教えてくださいました。
あなたにとっての「私の一冊」は何ですか?

工)……工学部、大学院工学研究科 教)……教育地域科学部 医)……医学部



『シャーロック=ホームズの冒険』
コナン・ドイル(偕成社)
広瀬陽一さん
学生サービス課
シャーロックホームズが理論的
な推理で事件を解決していくの
がおもしろいです。

初めに
惚れます。



『日は好日』
森下典子(飛鳥新社)
中根幸治先生
工)ファイバー・アメリティ工学専攻
茶道を始めた学生さんにとっ
て、この本がそのきっかけにな
ればいいと思います。



『グリム童話の誕生』
間くメルヒェンから読むメルヒェンへ
小澤俊夫(朝日新聞社)
清水史子さん
学術情報課
生きていく勇気が出てきま
す。グリム童話は大人になっ
てこそ読んで意義ある一冊。



『ローマ人の物語』
すべての道はローマに通ず
塩野七生(新潮文庫)
川上洋司先生
工)建築建設工学専攻
なぜローマ人がインフ
ラの父と言われている
かがわかり易く解説さ
れています。

『花埋み』
渡辺淳一(角川文庫)
竹内美佳さん
学術情報課
日本で初めて女医に
なった荻野吟子女
史のお話です。静か
で熱い生涯。



『ビジネスマンのための
「発見力」養成講座』
こうすれば、見えないのが見えてくる
小宮一慶(ディスカヴァー・トゥエンティワン)
漆崎誉子先生
医)看護学科 成人・老人看護学領域
ものを見るとき視点、ビジネスマンだ
けでなく看護にも通じるものがあります。



『縦の木は残った』
山本周五郎(新潮社)
長谷博行先生
工)情報・メディア工学専攻
時代物ですが現代にも共感
する部分が多くあり、人生
勉強にもなる一冊です。



教員が
翻訳した一冊。



『11をさがして』
パトリシア・ライリー・ギフ(著)
岡本さゆり(訳)(文研出版)
三好修一郎先生
教)言語教育講座
ディスレクシア(読字障害)の少
年の話。作品の面白さと同時に
障害について知ってほしいです。

『すべてはどのように
終わるのか』
あなたの死から宇宙の最後まで
クリス・インビー(著)
小野木明恵(訳)(早川書房)
松本智恵子先生
教)地域政策講座
科学的にも読み物と
してもおもしろく、
色々な終わりから未
来が見えてきます。



『もし高校野球の
女子マネージャーが
ドラッカーの
「マネジメント」を読んだら』
岩崎夏海(ダイヤモンド社)
児嶋美恵子さん
教務課
「顧客」への意識は教職員や教員志望
の学生さんにも役立つと思います!



『ながい坂(上)(下)』
山本周五郎(新潮文庫)
飯田礼子先生
医)看護学科 生命基礎科学領域
誠実に生きることや苦しいとき
の心の持ち方を教えてくれる珠
玉の長編時代小説です。



『写真集 水俣』
W.ユージン・スミス(著)
アイリーン・M.スミス(著)
中尾ハジメ(訳)(三一書房)
石井パークマン 麻子先生
教育学研究科
人間というものを深く考えさせ
る、強烈な印象を与える本です。



『日本人の英語』
マーク・ピーターセン(岩波新書)
老木成稔先生
医)医学科 分子生理学領域
英語の構造を明快に教えてく
れ、英語を使うことに非常に
実用性のある本です。

『日常の物理事典』
『続 日常の物理事典』
近角聡信(東京堂出版)
田嶋直樹先生
工)物理工学専攻
「物理の散歩道」を簡単にま
とめ直した、物理のおもしろ
いエッセンスが詰まった本。



『世界一自由な
脳のつくり方』
茂木健一郎(かんき出版)
村上美穂さん
松岡キャンパス学務室
常識にとらわれず自由に
発想することで一回り成
長できる(?)本です



刺激を
受けました。

人が前に進む
かに感動!



『優駿(上)(下)』
宮本輝(新潮文庫)
安倍博先生
医)医学科 行動基礎科学領域
圧倒的な感動を呼ぶ傑作!青
春時代に必ず読んで欲しい一
冊です。



迫さん

寺田 入学してすぐに実施される新入生合宿では読んだ本の感想を言い合ったり、学友と一緒にポスターを作ったりと、友人づくりの良いきっかけになったのではないのでしょうか。このように本を通して人との仲が深まるのもGLPの特長です。二人は、何か思い出に残っていることはありませんか？

迫 『水はなんにも知らないよ』(ディコミュニケーションが生まれる) 本をきつかけに



学生X教職員 私の一冊

本との出会いが 広げる世界

寺田 最後にGLPを経験して、何か変化はありましたか？例えば、推薦本の関連書を自分で探して読むなど。

本を読むことは、 学問の高みをめざす ベースづくり

寺田 教員たちは推薦本にコメントを付けていますが、それは学生さんへのメッセージでもあります。だから、リアクションがあることもうれしい。友人と、先生と、本を通して学問的に刺激し合うという大学らしい人間関係を築けることもGLPの良い点ですね。

森山 教員のなかには、授業で直接この本、お勧めですよ」と猛アピールしてくださる方もいらっしゃいました(笑)。本の感想を先生に伝えると、すごく喜んでくださって。

スカヴァー(携書)という本を読んだ時、同じ本を読んだ学生と内容について話をしたり、疑問に思ったことを先生に質問しに行くこともありました。推薦本から先生の人となりを感じ、授業を選択することもありましたね。



森山さん

迫 GLPで本を読むようになって、授業の中での気づきが多くなりました。これ、推薦本で読んだ内容だな」と知識がつながる瞬間があり、そこから興味が出て関連書を探すことはあ

寺田 グリーンリーフズプロジェクト(以下GLP)では入学直後から2週間に1冊というペースで専門領域の本を読みますが、二人とも工学部に入学して、まさかこんなに本を読むとは思っていなかったのでは？

迫 GLPには正直、最初驚きました。推薦本のなかにはかなり難しそうなものもありましたし、でも、専門書を読む良いきっかけになったと思います。高校時代あまり本を読まなかった僕でも慣れてしまえば2週間に1冊というペースも苦になりませんでした。

寺田 実は教員の間で、「大学生が先生の選んだ本を読む」ということについて高藤があっただんですよ。本は自分で選ぶものなんじゃないかと。学生に読書を義務づけると拒否反応が起こるのではという不安もありました。

GLPで身についた 2週間に1冊、 専門書を読む習慣

大学院工学研究科生物応用化学専攻 寺田 聡先生
工学部生物応用化学科4年 迫 勇樹さん
工学部生物応用化学科4年 森山聖子さん

※GLP Green Leaves Project (グリーンリーフズプロジェクト) 生物応用化学科では教員が推薦した図書を学生が読み、レポートを作成することで日本語力と専門分野への興味を高める創成教育を実践している。



寺田先生

森山 私はレポートの書き方に変化がありましたね。最初は感想文の様なレポートを書いていましたが、たくさん本を読んだことで著者によって視点が違うことに気づき、複眼的な書き方ができるようになりました。

寺田 教員が学生の皆さんに望むことは、多くの本を読むことで自然科学の正しい知識を身につけ、学問のベースを築いてほしいということ。土台がなければ、学問の高みを目指せませんから。本は心を豊かにしてくれるもの。工学の分野にこだわらず、本を純粋に楽しむことも忘れられないくださいね。

私の一冊

今回対談していただいたみなさんにも「私の一冊」を教えてくださいました！

- 寺田 聡先生 『制御工学の考え方』 木村 英紀 著(講談社ブルーバックス) 「制御」の歴史や事例、将来の可能性などにふれながら、その本質を解説する一冊。
- 迫 勇樹さん 『生物と無生物のあいだ』 福岡 伸一 著(講談社現代新書) 日常的事例のわかりやすい解説は、物理が苦手な人にもオススメ。
- 森山聖子さん 『二重らせん』 ジェームス・D・ワトソン 著 江上 不二夫/中村 桂子 訳(講談社文庫) 研究過程がドラマティックに描かれています！



新しい音楽の開拓



ピアノでの作曲風景

前衛の技術を活かして

主に、現代作品を作曲しており、クラシックの伝統を引き継いだ新しい音楽を開拓しています。過去の作品を研究し、その技術を作曲りに活かしてい



教育地域科学部
芸術保健体育教育講座
星谷 文生 先生

星谷先生は、今年4月に教育地域科学部
芸術・保健体育教育講座に着任されました。

生の音楽を大事に

いろいろなアイデアを作曲りに反映していきけるように日頃から様々なアンテナを張るようにしています。作曲する時、突然メモディが湧いて出てくるという場合もありますが、むしろ音楽

音楽を日常に

音楽は生活に必要な不可欠だとは言いつらいものかもしれませんが、目に見えない形で大きな影響を与えているところが魅力のひとつです。学生の皆さんには、iPod等で音楽を楽しむ方法もありますが（私はiPod大好きです）、生の演奏を聴きに行ったり、幅広いジャンルの曲を聴いたりしてもっと日常に音楽を取り入れてほしいです。

以外の様々な日常の出来事から影響を受けることも多いですし、美術などの他の芸術分野から影響を受けることもあります。曲づくりの中で大事にしていることは、なるべく手作業で、一つ一つ丁寧に考えてすすめることです。五線譜に曲をおこしたり、ピアノで作曲したりしながら、できるだけ演奏する現場を想像して作曲するように心がけています。コンピュータは、とても便利な道具ですが、音楽は生身の人間が体感するもの。人間と人間がぶつかりあって何かを表現し、伝えようとする「熱さ」が一番大事なことだと思います。自分の想いを作品として発表していますが、作品を聞き手、演奏家の方たちがどう捉えるかは自由だと考えています。作り手の想いを押し付けてはいけないし、人それぞれの感じ方で「音」を「楽」しんでもらえれば嬉しいです。



★ハマっていること★
最近はジョギングにはまっています。健康のために、毎日走っています！河原を走ることが多いです。



音楽仲間とレコーディングの様子

いと思います。今後は、福井でも身近に音楽を感じてもらえるような取り組みができればと思っています。

学長メッセージ 私の一冊

学生×教職員 私の一冊



学長 私の1冊
『歎異抄』

「歎異抄」とは

「歎異抄」は、鎌倉時代後期に書かれた仏教書で、作者は親鸞の直弟子の唯円房とされる。1236年頃、親鸞が東国から京に帰った後、東国では様々な異議が生じ、異論を説く者が現れ、東国門徒が動揺するようになったため、親鸞は実子の善鸞を事態收拾のために東国に派遣した。ところが善鸞は自分は親鸞から真に往生する道を伝授されたと称し、自分の考えこそが正しいと主張した。この事に対し親鸞は、秘事を伝授した事はないと東国門徒に伝えた後、善鸞に義絶状を送り、親子の縁を切り破門した。時に1256年5月、所謂「善鸞事件」である。「歎異抄」はこの善鸞事件後に作者が親鸞より直接聞いた話をもとにしたもので、親鸞の死後も専修念仏の真宗の教えとは異なる教義を説く者が後を絶たないこと、即ち異議の多きを歎いて文をしたためたものである。

阿弥陀仏が救うもの

私は高校一年生の時に「歎異抄」に接し、衝撃を受けた事を今でも新鮮な感動として思い出す。特に第三条は、悪人正機説を明快に説いたものとして現在でもよく引用されている。「善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや」。この逆説的表現は、弥陀の本願は社会的道義の尺度を越えたものであ

り、弥陀の絶対善から見れば、われら人間の行動や心情全ては不浄であり、罪過であり、その煩惱ゆえの罪過を深く自覚し、永劫無辺の弥陀の本願に一心不乱に心身をゆだねる事こそ、煩惱具足の徒が救われる唯一の道であることを説いている。弥陀の本願を妨げる悪など存在しないと説きながらも第十三条では、どんな悪人でも助ける弥陀の本願ではあるが、わざと好んで悪を作ることには邪執だと断じている。



学長 **福田 優**

足下を見つめ直す

弥陀の本願に対する絶対信仰は全てを如來の前に投げ出した無義の状態であり、「一見空そつに見える他力本願も、その本質は極めて真剣なものであり、命がけである。和讃にあるように「如來大悲の恩徳は身を粉にしても謝すべし」と全身全霊で帰依することを求めている。これは一見、他力の裏に自力、即ち罪を悟ることの必要性を説いているようにも見える。しかし、とにかく他力本願の教えは、キリスト教のモーゼの十戒にみるような「神との契約」によって成立する信仰とは大きく異なる事は確かである。今日のように利己主義が巾を効かせる社会にあつて、もう一度自分の足下を見つめ直し、「歎異抄」を熟読してみることを学生諸君に勧めたい。

超微量分析で環境保全に貢献

人類の脅威となる感染症を防ぎ病を克服する

汚染物質を早期に見

事故や災害により工場などから漏れ出た有害物質は、時間の経過とともに生態系の破壊や健康被害といった重大な問題を生むかもしれません。そのため、ごく微量なレベルで環境汚染物質を早期に見出し、対策を講じることが重要です。

そこで環境汚染物質を痕跡量レベルで測定できる、レーザーイオン化飛行時間質量分析法を開発しています。

この方法では、汚染物質を真空装置に導入し、レーザー光を照射して測りたいものだけをイオン（主に陽イオン）にすることが出来ます。装置内の電極にはマイナスの電圧がかかっているので、陽イオンは一定方向に引き寄せられ、最終的には真空管出口の検出器に



大学院工学研究科
材料開発工学専攻
内村 智博 先生



学生と実験中

到達します。この検出器に到達する時間（飛行時間）が質量数で異なるため、分析対象物質の違いを判別することができます。

現在、真空装置に汚染物質などの試料を入れる方法は2つあります。①ガラス製の毛細管から少しずつ連続的に

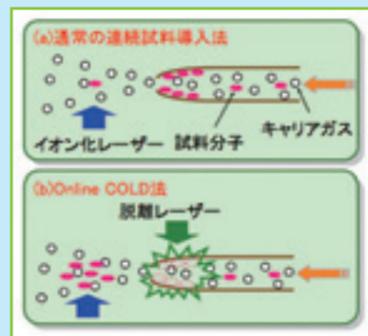
ある時、研究室の学生から①の方法でダイオキシンの分析結果が思うようにならなかったとの報告を受けました。いつも確実に出るはずのデータが得られず、実験方法に問題があったのではないかと考えました。しかし、話を聞くと、先端が窄まった毛細管を使ったため、先端で気体の体積が圧縮され、その後膨張することにより温度が低下し、結果的に先端に試料が溜まって検出されなかったことがわかりました。

この現象を利用し、毛細管の先端にレーザーをあててみたところ、毛細管で濃縮された試料を高効率に噴出させることに成功し、従来の300倍もの感度向上が確認され、世界でもトップレベルの検出となりました。また、

試料を入れ、レーザー光をあてる方法、②ON/OFFで試料の導入を制御し、それに連動してレーザー光もON/OFFである方法です。この方法にはそれぞれ長所・短所があります。

①は毛細管を高温にできるため、試料を気体の状態に保つことが出来るが、試料に無駄が出る。②は温度の制限があるが、試料に無駄が出ない。これまでは試料の特徴に合わせてどちらかの方法を選択していましたが、わずかな汚染物質をより効果的に分析するためには、その検出効率を最大限に高める必要があります。

学生の研究結果から



オンライン濃縮レーザー脱離試料導入法(Online COLD法)

ON/OFFの制御は通常1秒間に750回可能なことに対し、この方法では1秒間に1000回繰り返すことができます。この独自に開発したオンラインコールド法をさらに発展させて、土壌や河川水の中に潜む有害物質を分析し、環境浄化に役立てたいです。



医学部
生体防御研究室
伊保 澄子 先生

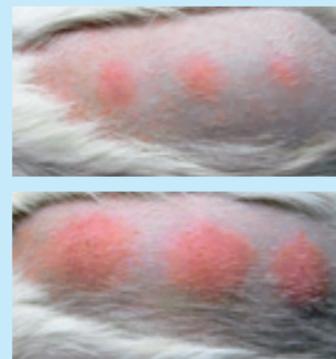
体を守るスーパーシステム

細菌やウイルスなどの病原体が体に入るとすると、大部分は皮膚や粘膜などで阻止されますが、僅かに潜り抜けて体に入り込むことがあります。この場合、常に体中を監視している免疫系の細胞がそれらを「非自己」として判断し、一致団結して戦います。がん化した細胞や移植などで体に入ってきた他人の細胞など、異質な細胞に対しても同じように働きかけます。このように免疫系は精巧かつ複雑なシステムを働かせて、私たちの体を病気から守ってくれています。

80年代より私は、細菌を使ってがんに対する免疫機能をアップさせる研究に取り組んできました。そのなかで、特定の構造のDNA(デオキシリボ核



開発した人工DNA
(産・官・学共同研究、特許:3976742, US7718623)
A: アデニン, T: チミン, G: グアニン, C: シトシン



ツベルクリン反応による結核免疫の評価例(モルモット)
上:結核免疫が弱いモデル; 下:結核免疫が強いモデル
写真提供:日本BCG研究所・山本三郎博士、国立感染症研究所・前山順一博士

酸)ががんに対する免疫を活性化させる可能性を明らかにしました。

研究開始当初は遺伝情報を担うDNAが免疫を司っていることは知られていませんでした。しかし、生命医学の進歩と共に、ヒトや微生物のゲノム(全遺伝情報)が解明され、免疫システムの詳細も次々と明らかにされ、DNAはその中で重要な役割を担っている

最近私は、BCGゲノムの一部をまねた人工DNAを開発しました。このDNAはマウスでアレルギーの発症を抑制するので、アレルギー治療薬への応用が期待されます。

昨年より、ワクチン接種によってできた免疫を再度活性化させるため、人工DNAを使えないか研究しています。近年、結核を発症する人が増えています。結核は、感染症であり、重症化すると死に至ることもある怖い病気で、ワクチ

免疫の再活性化

ることがわかりました。現在では免疫を活性化するDNAに対する受容体も明らかになっています。

一方、難病と呼ばれる疾患がまだまだ多くあり、その半数が免疫に関するものであることも事実で、難病の解明とその治療法の開発など、課題は数多く残されています。免疫学は成熟の段階から先進的な治療や予防の研究へ進む段階にきているといえます。

ンであるBCGを生後6カ月未満に接種することになっています。一回の接種で一生効果があると考えられてきましたが、実は15年程度しか有効ではないとも言われています。「もう一度BCGを打てばよいのでは?」と思われる方もいると思いますが、再度BCGを接種するとコッホ現象(二度接種した後の皮膚が腫れる病変)を起こすことがあるため、2回接種することはできません。そのため、すでに持っている結核に対する免疫を増幅させる「免疫増強剤」としての人工DNAを取り入れた製剤を開発し、産・官・学共同で特許を出願したところです。(特願2011-080646)

今後は、初心に帰って、人工DNAをもっと研究していたがんに対する免疫を増強する技術に应用開発したいと考えています。



今ハマっていること★

学生たちと月に1~2回、夕方に免疫について学ぶ「免疫いろは講座」を開催しています。受講は自由。詳しくは松岡キャンパス掲示板。



今ハマっていること★

趣味は音楽鑑賞。今一番ハマっているアーティストはRADWIMPS。愛用のウォークマンを常に傍らに置いて大好きな曲でリラックス。デスクワークの効率もアップします。

日本 どまんなか 祭り

名古屋で開催される日本三大よさこい祭りの一つです。今年初めて参加するので新人賞がとれるように全力で頑張ります!

よさこいサークル
福井大学よさこいの皆さん
(文京キャンパス)

☺:夏といえば「お祭り」が熱いですね!このよさこい祭りでは、日本全国のよさこいチームが参加し、日本各地の個性が出た踊りを見ることができ、多くの人々と交流することができるのが魅力だとか。

旅行

教育地域科学部 趙佳さん

教育地域科学部 李瑛さん

東京は日本の首都なのでぜひ行ってみたいです。ディズニーランドにも!京都では歴史的な建物を、大阪では観光地を回りたいです。

日本の様々な場所を訪れて、中国と日本の文化の違いや、日本の中での各地域の文化の違いを理解したいです。

☺:中国からの留学生のおふたりは、日本国内を旅行したいとのこと。留学生の方に日本はどう見えているのでしょうか?日本のいい所をたくさん知ってほしいですね!!

vol.2
夏休み
何する?

We LOVE 福大

福井大学 学生広報スタッフ発、学生による学生のためのページ、「We LOVE 福大」vol.2をお送りします!

夏真っ盛りの7月。もうすぐ皆さんお待ちかねの夏休みがやってきます!そこで私たちは両キャンパスの福井大学生に「夏休み何する?」をテーマにインタビューしました。

これを読んでいるあなた、もう夏休みの計画は立てましたか?えっ、まだ決めてない?そんなあなたは慌てる前にまず、みんなの計画を Check!



そうだ パリへ行こう

福井大学ワイルハーモニー管弦楽団の皆さん
(松岡キャンパス)

クラシック音楽の本場といえはヨーロッパ!海外の演奏を生で体験したいです!!
とはいえ、資金面などの関係で行けるのはいつになるやら...

☺:海外は人気ですね!夏休みは時間もあって、本場を体験する機会としてはうってつけ。しかし資金面でハードルが高いのも事実。今から夏休みまでに間に合うかな...!?

スカイ ダイビング

大学院 教育学研究科2年 重野加南子さん

飛んだら人生観変わるかも!?

☺:夏休みは人生が変わるような体験に挑戦できるチャンスでもありますね!積極的にいろんなことにチャレンジしていきたいですね。

日本旅行

工学部 建築建設工学科1年 谷口修さん

日本人として、岐阜県の白川郷や石川県の金沢の長屋などに行きたいです。自然遺産の屋久島の縄文杉や白神山地にも行ってみたいです。

☺:旅行は夏休みにしたいことの代表的存在ですね。建築を勉強する谷口さんは、日本の建築を見る旅に出るようです。自分の専門分野をより深く見つめる旅というのも素敵です!

バイト と帰省

医学部 医学科3年 藤井正和さん
(大学祭にて取材)

夏休みにアルバイトをたくさん入れちゃうのは、車検代確保もあるけど...やっぱり楽しいから...!

☺:大学生は何かとお金が必要になりますね。アルバイトは、自分で使うお金を自分で稼げて、しかも社会勉強にもなる!夏休みだけ短期で...という人も多そうです。

院試 頑張る

工学部 材料開発工学科4年 荒井香織さん
(大学祭にて取材)

大学院の入試はもうすぐ。大学院でさらなる研究に励むべく、今夏は学生の自分、勉強に全力投球ですね!

おいしい料理 食べにいきます

工学部 材料開発工学科2年 上田将宏さん

どこか素敵なお店の食べ放題で、胃袋を十分に満たすまで食べたいです!

工学部 物理工学科3年 田井亮幸さん
E.C. ひなとり部長 (演劇部)

☺:三者三様の答えですね。東北へボランティアに行きたい!という方は今年たくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。希望の方は福井大学災害ボランティア活動支援センターで相談することができます。私たちにできることを考えていきたいですね。

合宿 行くぞ!!

大野にある六呂師山荘で合宿をします。発声、体づくりなど基礎的なことをしながら、部員の仲を深めたいです。

空を飛ぶ!!

福井大学航空部の皆さん
(文京キャンパス)

技術の向上を目指して合宿をします。福井空港・岐阜県木曽川滑空場 岐阜県大野滑空場でフライトしてきます!

☺:サークル活動も夏休みの醍醐味のひとつ。長期の休みを利用して、遠征や合宿といった普段と違う活動ができます。

学生広報 スタッフ募集

学生広報スタッフを募集しています。企画・取材・広報誌・webページの制作に興味のある人歓迎!
福井大学生なら誰でも参加できます。希望する人は気軽に連絡してください。
楽しく福井大学の魅力を発見して広めていきましょう!

福井大学広報室
tel / 0776-27-9733
e-mail / sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

- ちなみに学生広報スタッフの「夏休み何する?」は...
- 右から順に 丹羽 良太 (工・4年) 「最後の夏、祭と研究をやりきる!!」
 - 大川 雅弘 (工・2年) 「四国に行きたい!」
 - 大木 怜 (教・1年) 「自動車免許!!」
 - 斎藤 安希 (工・4年) 「魚釣り!」
 - 明城千佳子(教・院2) 「修了論文・修了制作!」
 - 荒井 宏典 (工・4年) 「ラジオ体操フル参加(初)」
 - 中野 真代 (工・4年) 「花嫁修業!」
 - 中村 夏樹 (教・院1) 「茨城の野外フェスに行きます!」と、多種多様!





卒業生リレーメッセージ
FUTURIST
~未来人~

利用する人が笑顔になる 建築設計がしたい

平成11年度工学部環境設計工学科卒業
株式会社押田建築設計事務所勤務・一級建築士

中野謙悟さん

苦勞した分、喜びも大きい

私が勤務する建築設計事務所は公共施設を得意分野とし、民間企業の社屋や工場などの設計も手がけています。個人の仕事を振り返ると、入社してからしばらくは先輩のサポート的な仕事をしていました。例えば部屋の内装を考えるなど部分的な担当ですね。トータルに設計を任されたのは、入社3年目ぐらいでしょうか。幼稚園の建物を担当し、お客様からは「木材を多く使いたい」という要望がありました。予算との兼ね合いを考えながら、どこに木材を配したら、効果的に木の良さを感じてもらえるかに知恵を絞ったのを覚えています。

お客様のニーズや予算、快適性や安全性などさまざまな視点が求められる建築設計。地盤調査なども行い、実は地道な仕事の積み重ねでもあります。でも、苦勞した分、お客様に喜んでくれた時はやりがいを感じます。「次のお客様にも喜んでいただきたいと思います」という気持ちになりますね。

多くの気づきがあった現場見学

グループホームや保育園など福祉関係の建築に興味があり、大学時代は、その分野を専門とする櫻井康宏先生の研究室に所属していました。当時、グ



ループホームが注目され始めた時期で、ゼミでは県内外の先進的な建築を多く見学する機会に恵まれました。なかでも印象的だったのが愛知県にある老人デイサービスセンターの建物です。通常、老人デイサービスセンターというと老人ホームに併設されていることが多いのですが、その施設は幼稚園に併設されていました。孫世代と一緒に過ごすことで老人はイキイキと過ごせ、子どもも老人から多くのことを学ぶという相乗効果を生みだしていました。他にも当時としてはめずらしい個室型の特別養護老人ホームを見学するなど、



基礎スキーの大会に出場。結果は個人戦クラス5位と、好成績を残した。



夏はスキー部の仲間とバーベキューへ。社会人になった今も絆は強い。

実際に建物を使う人と交流できたことはとても有意義で多くのことに気づきました。現在、福祉関係の建築を任せられることが多く、現場見学の経験を生かし、利用する人が笑顔になるような設計を心がけています。

学校を飛び出して、旅に出よう

大学時代はスキー部に所属し、一生の財産ともいえる仲間がたくさんできました。部活動での先輩、後輩とのつきあいは社会人になってからの人づきあいの練習になったとも感じています。今、福井大学の皆さんに伝えたいことは、学校だけでなくとまらず、学外でも見識を深めてほしいということ。建築を学ぶ学生さんなら、国内外の有名建築を見てまわることをおすすめします。ただ旅をするだけでも視野を広げることができるとは言いにくいかな。若い時の出会いや感動的な体験は、その後の人生をきつと豊かにしてくれるはずですよ。

全日本アンサンブルコンテスト 金賞受賞！

吹奏楽部アンサンブルチーム

3月19日、鹿児島市民文化ホールで開催された「第34回全日本アンサンブルコンテスト」に、北陸代表として参加した吹奏楽部メンバー（4名）がサクソフォン四重奏で金賞を獲得しました。大学の部では、2団体が金賞を受賞。福井県の大学としては、初の快挙となりました。



【吹奏楽部アンサンブルチーム】

右から 教育地域科学部 学校教育課程1年 鶴沼 紀夫さん
教育地域科学部 地域社会課程4年 河合 真穂さん
教育地域科学部 学校教育課程3年 齋藤 亜未さん
教育地域科学部 学校教育課程1年 煙谷 惇さん

から「自分たちの分も頑張っしてほしい」と逆にエールをもらい、出場を決意。コンテストでは、テザンク口作曲の「サクソフォン四重奏曲」を演奏しました。メンバーたちは、金賞を獲得したのはそれぞれが奏でる音色の表情がぴったり合っていて、それは何でも話し合えるほど仲が良かったからだと言っていました。



部室の前で

河合さんは今年3月に卒業し、このメンバーでの出場は今回が最後となりましたが、今後も音楽を楽しみながら、それぞれの目標に向かって取り組んでいきたいと話していました。

FACE がんばる学生を紹介

掲載されている方の所属、学年等は取材時のものです。

地域活性化に貢献 福井を彩る希望の光

工学部建築建設工学科・専攻 灯りプロジェクト

4月16日・17日、足羽川河川敷で行われた「ふくい光福（ひかり）アート展」に工学部建築建設工学科・専攻 灯りプロジェクトのメンバーが参加しました。今回の催しは、東日本大震災のため一度は自粛の方向に向かっていましたが、被災地へ光を届けたいという意向での開催となりました。



ろうそくの揺らぎを表現した行燈

会場には昨年度「光福アートコンベン（福井青年会議所主催）」において優秀賞となった、スパイラルツリー台と行灯75基を設置しました。「木漏れ」をイメージしたスパイラルツリーは木の隙間からこぼれる光の温もりにも人々が集まることを期待して制作されました。また、光源となる5つの電球に、それぞれ異なる周波数を与えながら、炎の揺らぎを表現しました。行灯は、「日本の伝統的な灯り文化を取り戻したい」という想いから、大学のILF事業の支援を受け、LEDを用いた和ろうそく特有の揺らぎや色のグラデーションの変化を可能にしました。



スパイラルツリー

※ILF: Incubation Lab-Factory 大学が産学官連携で物づくりする場を提供する事業



企業のTOPから学生時代や新入社員のころのエピソードを伺い、仕事に対する姿勢などを、福井大学生へのメッセージとして届けます

大学生の君たちに
今、伝えたいメッセージ



益茂証券株式会社

代表取締役会長

益永哲郎さん

無限大∞の可能性

今日、すべきこと

新人時代は岡三証券の渋谷支店に勤務していました。もっぱら、世田谷区の若林地区を中心とした飛び込み訪問を朝から夕方まで毎日、毎日繰り返す日々でした。知り合いもない、見ず知らずの街で、お宅を一軒、一軒訪ねて歩きました。初めは断られることばかりで、心が折れることもあり、映画館でサボってしまったこともあり、緊張する人は明日も頑張れる人」と言われて気がきました。やっぱり、人間にとって習慣づけることは大切です。1日、サボった分を取り戻すには2日ぐらいの労力を使わないと取り戻せませんから、ですから、頑張る習慣をつけよう

100人ほどいましたが、負けたくないですからね。営業から戻ると、会社のパンフレット以外に自分で手書きのパンフレットを作って、他の人にはない、工夫もしていました。そのうち、少しずつ顧客が増え、街を歩いているお客さまの方から声をかけていただくようになった。

実は私、メモ魔なんです!

どうせメモをするなら、サボった歴史ではなく頑張った歴史をメモしたいですね。私が担当していた若林地区は1丁目から5丁目まであり、そこで獲得した顧客数をずっとメモに記録していました。お客様が一人、また一人と増えていき、「80人達成した!」などが顕著に分かり、嬉しくて励みになりました。ライバルの証券会社の営業が

時代をうまく掴む

時間と距離を気にすることなく、多くの人と意思疎通をすることができるようですが、その一方で、直接人と会うことも大切にしています。人と人が向き合う基本を忘れてはいけません。



ん。私は出会った人の名前を和歌に詠みこみ、はがきにして送っています。これもメモですが、2000年から始めて今では2万6千7百通(※取材時)です。やっぱり対話しないと親しみを持ったりすることができないと思うのです。それでも、ネットは便利ですし、使わないと損ですから、「ネットとアナログ」の融合がこれからの時代のポイントになると思います。

511の瞬間も「希望」を見つけて

経済状況に惑わされて先行きを不安に感じ、悲観的に見えてしまうことが多い時代かもしれません。しかし、人の可能性は無限大∞だと思います。人には困難を乗り越える力が必ずあると思います。私は「希望」という言葉が



社内での「きぼろトーク」



益永 哲郎会長よりいただいた
ひらがな名前入り和歌

好きで、コレクションしています。毎週、社員に向けて「きぼろ通信」の中でメッセージを送っています。ヘレンケラーの「希望は、人を成功に導く信仰である。希望がなければ何事も成就するものではない」という言葉が大好きです。どんなに大変な時でも、人は「希望」を失ってはいけません。辛いときこそ「希望」を持つことで、新しい芽が出てくると思います。前向きに、明るく生きることがあります。出世のため、よりよい生活のためではなく、誰かのために頑張る、素晴らしいことだと思えます。自ら働きかけ、実践していくことで、自分の殻を破り、自分の成長を感じることができるのではないのでしょうか。

キャリアカウンセラー紹介



就職支援室 キャリアカウンセラー
堀井佳恵さん

「面接では、どんな応募したらいいな...」
「面接では、どんな応募したらいいな...」
「面接では、どんな応募したらいいな...」

「私の長所は?」
「応募書類の書き方は?」

「面接では、どんな応募したらいいな...」
「面接では、どんな応募したらいいな...」
「面接では、どんな応募したらいいな...」

就職支援室からのお知らせ

8・9月
企業訪問(愛知県・京都府)

10月7日(金)
教員採用試験対策スタートアップ講座
メイクアップ講座

10月14日(金)
就活復習・スタート講座
就活マナー講座

10月21日(金)
教員採用試験対策セミナー
(在学生及び既卒者を対象)

10月28日(金)
エントリーシート作成講座1

※日程が変更する場合がありますので、掲示板等でご確認ください。



社員との「きぼろトーク」

TOPICS*1

学生生活の充実をはかるために
学生生活実態調査2010から

調査回答にご協力ありがとうございました

昨年10月に実施した「学生生活実態調査2010」に、全学生の約半数の方から回答をいただきました。回収後、高等教育推進センターのワーキングなどで分析を行い、すでに可能なところから、改善・充実を図っています。駐車場問題など、キャンパスのキャパシティや財政面で、なかなか実現できない課題も多くあります。しかし、文京、松岡両キャンパスから夜間暗くて危険という声が多い街灯の設置など、すでに予算措置の要望や検討を始めている課題もあり、みなさんの学修環境の改善・充実に向けて努力しているところです。

主な学生支援・改善策

授業料免除枠を拡大
全額免除が大幅増

—今年度前期—
授業料の免除枠を1%拡大(6.3→7.3)したこと、成績基準を3.2から3.0に引き下げ、経済的基準を優先したことにより、全額免除が130名(昨年比84名増)となりました。また、基準を満たしていた申請者全員が半額以上の免除を認められました。

■問い合わせ先 学生サービス課

自宅から履修登録ができます
—今年度後期から—

現在、履修登録は、大学内の情報処理演習室などのPCを利用して登録することになっていました。新教務システムの導入に伴い、今年度後期より、自宅から「履修登録」ができるよう準備をすすめています。



■問い合わせ先 教務課、松岡キャンパス学務室

教室の機器更新

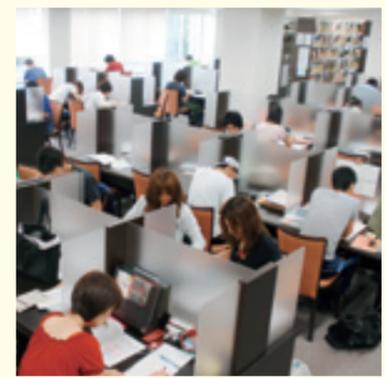
各教室の備品更新の予算を措置し、プロジェクタやAV機器など、順次更新していきます。

「出席管理システム」についても、設置台数を増やしています。今年度は、教育地域科学部及び医学部の教室に設置予定です。

■問い合わせ先 教務課、松岡キャンパス学務室

試験期間中
土日2時間延長開館

—総合図書館(文京キャンパス)—
学生の利用が特に多くなる、定期試験期の土日の開館時間を2時間延長し、18時(従来16時)までとしました。
(該当日)
平成23年7月23・24・30・31日
平成24年1月28・29日、2月4・5日



■問い合わせ先 総合図書館

海外派遣支援金を支給
—海外留学を支援—

学生の海外留学推進のために、今年度から「海外派遣支援金を支給することになりました。長期・短期の留学・語学研修で海外に出かける学生を支援するものです。

■問い合わせ先 学生サービス課、松岡キャンパス学務室



チューテント・アシスタント募集!

—学内アルバイトで後輩を支援—
学生の経済支援と学習支援などを目的に、今年度、チューテント・アシスタント(SA)制度を試行的に導入しました。これは、学生の皆さんに大学のスタッフとして、後輩学生の学習支援や大学の運営に参加していただく制度で、謝金が支給されます。現在、スタッフを募集中です。総合図書館では、不得意科目やレポート作成指導などの学習支援、保健管理センターでは、友達や相談相手がいけない学生の居場所づくりなどの支援を行います。困っている学生のみならず、気軽に利用してください。

- ★教育実習支援、履修指導・登録支援(教務課)
 - ★学習支援(ラーニング・アドバイザー)(総合図書館)
 - ★ピアサポーター(保健管理センター)
 - ★就職サポーター(就職支援室)
 - ★入試広報スタッフ(入試課・松岡キャンパス学務室)
 - ★構内環境維持スタッフ(学生サービス課)
- ※()は担当課室等

■問い合わせ先 各担当の課室等

◆学生生活実態調査では、さまざまな意見や要望がありました。大学として改善に向けた取り組みをしています。学生のみならず、構内でのバイク走行禁止、自転車の指定場所への駐輪、ゴミ・吸殻のポイ捨て禁止など、マナーの向上に心がけてください。

TOPICS*2

トップと話をしよう!
学生と学長の懇談会

4月22日に文京キャンパスで、5月25日に松岡キャンパスで、学生と学長の懇談会が開催されました。学長が大学の取り組み・姿勢などを伝え、また学生の意見や要望を聞き、今後の学生支援の参考にする目的で行われました。

文京キャンパスでは、大学祭実行委員会委員6名が参加し、昼食を交えながらざっくばらんに懇談しました。実行委員の学生からは、大学祭のステージ設置には多額の費用がかかるなど、準備段階での苦労など

が話され、学長からは、実行委員会に留学生を交えて、国際色豊かな大学にするにはどうかとの提案がありました。

松岡キャンパスでは、各学年の代表14名が参加、大学主催の講演会を開催してほしいといった要望や文京キャンパスの学生とも交流を持ちたいという意見が聞かれました。

今後、学生と学長との集いの場を設け、よりよい大学づくりに反映させたいと考えています。



文京キャンパスにて



松岡キャンパスにて

TOPICS*3

医学部新入生
合宿研修を実施

5月13日〜14日に、医学部では医学科、看護学科の全新生が参加して「新入生合宿研修」を実施しました。

上田孝典医学部長の挨拶の後、保健センターの梅澤有美子先生が「心と体の健康について」、地域医療推進講座の山村修先生が「東日本大震災被災地での救護活動について」講演しました。

この後、学生たちはバスで宿泊場所のある坂井市三国町へ移動し、先輩との交流や班別討論会をおとして学生同士、職員と交流を深めました。



TOPICS INFORMATION



TOPICS*4

福井大学祭
f.u.fes.2011

5月27日〜29日に、福井大学祭 f.u.fes.2011を開催しました。今年のテーマは「3D」。大学実行委員会メンバーが目指した学生生活の日々(Daily)を形にする(Design)大学祭(DAIGAKUSAI)となりました。
台風接近に伴い、一部予定を変更したものの、ステージでは、ゲームを盛り込みながらのビンゴ大会「ビンゴごっこせー」や様々なパフォーマンスを楽しめる「5時だよ!パフォーマー全員集合」で盛り上がりました。

